

令和7年度 第1回 南伊豆町総合計画審議会

日付：令和7年2月21日（金）

15：30～17：00

場所：南伊豆町役場 湯けむりホール

次 第

開会

1 町長挨拶

2 委員委嘱

3 委員自己紹介

4 会長選出

互選により黒田委員が会長となった

5 会長挨拶

6 議事

- ① R5新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について
 - ・資料に基づき事務局より説明
 - ・令和5年度非課税世帯給付金の財源について質問があり、事務局から国の交付金が財源である旨の回答があった。
- ② 南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地域再生計画事業の進捗について
 - ・資料に基づき事務局より説明
 - ・将来町に住みたいと思う子どもの割合が低いことについて質問があり、事務局から、賀茂地域局にてアンケートを実施しており、令和4年度の公共数値である旨の回答があった。
 - ・事業2のKPIについて、目標値よりも実績見込みが大きく上回っている点について質問があり、事務局から、①子育て支援センターを作ったこと、②R4年度から厚生労働省からの事業委託による就労関係事業に取り組んできたことによる人材マッチングでの成果が出ている旨の回答があった。
- ③ 南伊豆町持続可能な地域の人材・暮らし・経済創生総合戦略について
 - ・資料に基づき事務局より説明

- ・大きな点としては、基本目標 6 が新たに加わったということで良いかとの質問があり、事務局から基本目標 5 まではローリングで、方向性は大きく変わっておらず、事業内容の変更や追加が等を行っている旨の回答があった。

○議事について検討が終了し委員の承認が得られたことから、町制全般についての意見交換を実施した。

- ・これまでの地方創生の取り組みに対する評価と、それに基づく新たな地方創生の取組「地方創生 2.0」の考え方などについて事務局から説明がなされた。
- ・今後におけるみなみいず応援プレミアム商品券事業の財源について質問があり、令和 7 年度の事業については国の物価高騰対策関連交付金である旨の回答があった。
- ・温泉施設の維持管理に対する補助金の継続について要望があった。
- ・温泉の活用について意見があり、民間事業者と行政が連携し、一体となった取組を実施していく必要がある旨の回答があった。
- ・アドバイザーより、資料 2 事業番号 4 について広告料等が町外に多く出ていくことになっているように見えるが、実際にはどうかとの質問があり、広告料、特設サイト設置費については町外事業者に委託している部分がある旨の回答があった。
- ・アドバイザーより、「子育てだけじゃない！」子育て支援拠点施設整備事業というネーミングは良いが、子どもが蚊帳の外になっているように思えるので、子どもを中心とした政策に転換していくべきで、そのために子供の参画が大事ではないか。また、教育＝学校ではなく、町丸ごと学校との考え方で地域の人も先生というような発想が大事ではないかとの意見があった。

さらに、空き家問題について、多地域居住促の考え方、町内で空き家を改修して事業を行っている事例などが紹介され、インバウンドや外国人移住者も意識した取組の必要性について提案があった。
- ・アドバイザーより南伊豆町持続可能な地域の人材・暮らし・経済創生総合戦略について、地方創生 2.0 を踏まえた計画になっていると考えられる点、ウェルビーイングという重要な観点や住民の幸福感についての指標化、町民ニーズに基づいた政策推進、二拠点居住を含めた多様なライフスタイルの受け入れの可能性等についての提案があった。

7 その他

特になし

閉会

各報告内容について協議し、閉会した。